

教科	家庭	単位数	2	学科・学年	全学科群・1年
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)				
副教材等	2024生活学Navi 資料+成分表 (実教出版)				

1 学習の到達目標

- ・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 科目の特色

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。

3 学習の計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

	学習内容	主な学習活動 (指導内容)
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科を学ぶにあたって ・これからの人生について考えてみよう ・自分らしい生き方と家族 ・食生活をつくる ・夏休み課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知る。ホームプロジェクトについて理解する。 ・各ライフステージの特徴と課題を理解し、自分の人生について考える。 ・男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解し、家庭生活や職業生活の在り方について考える。 ・家族・家庭に関する法律を知り、現在の動きを把握する。 ・現代の家族が抱える様々な問題を理解し、その解決について考える。 ・栄養素の種類と働きを理解し、摂取のしかたについて考える。 ・安全で健康的な食生活のあり方について考える。 ・調理実習を通して、調理の基礎技術を身につける。(調理実習は年3回) ・ホームプロジェクトを実施。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とのかかわる ・社会とかかわる ・子どもとかかわる ・衣生活をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢期の心身の変化や特徴について理解する。 ・高齢者の生活課題について理解し、解決について考える。 ・社会保障制度の仕組みを理解し、現在および将来の課題について考える。 ・子どもの育つ力と発達段階を知る。 ・人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わり大切さを学ぶ。 ・遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 ・子どもを取り巻く様々な課題について理解し、課題解決について考える。 ・被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かる。 ・汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ・被服実習を通して、被服の基礎技術を身につける。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・消費行動を考える ・経済的に自立する ・住生活をつくる ・1年のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約や様々な販売方法の特徴を理解するとともに、問題商法を未然に防ぎ、解決する方法について理解する。 ・消費者の権利と責任を理解し、消費者として行動について考える。 ・持続可能な社会の実現に向けた消費行動について考える。 ・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、適切な家計管理を考える。 ・将来を見据えた長期的な経済計画の重要性を理解するとともに、様々な金融商品について知る。 ・住居の機能を理解し、安全で快適な住環境について考える。 ・学んだことを振り返り、自分の生活設計について考える。

4 課題、提出物等

- ・授業や実習で記入するワークシートを定期的に提出します。
- ・夏休みの課題でレポート提出があります。

5 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査で評価します。	定期考査・レポートの内容で評価します。	提出物や授業態度で評価します。

